公立高等学校配置計画

（平成23年度～25年度）

平　成　２　２　年　９　月

北　海　道　教　育　委　員　会

目　　次

Ⅰ 公立高等学校配置計画（平成23年度～25年度）策定の考え方

1　趣旨 …… 1

2　中卒者数の見込み …… 1

3　基本的考え方 …… 1

4　配置計画（平成23年度～25年度）の概要 …… 2

5　配置計画の変更 …… 3

Ⅱ 公立高等学校配置計画（平成23年度～25年度）内容

1　中　学　校　卒　業　者　数 …… 4

2　欠　　員　　の　　状　　況 …… 4

3　定員及び中学校卒業者に対する割合 …… 4

4　配置計画（平成23年度～25年度）の学校別内訳 …… 5

5　中学校卒業者の推計及び推移 …… 10

Ⅲ　公立高等学校配置計画（平成23年度～25年度）学区別個表

空知南学区 …… 12
空知北学区 …… 13
石 狩 学 区 …… 14
後 志 学 区 …… 16
胆振西学区 …… 17
胆振東学区 …… 18
日 高 学 区 …… 19
渡 島 学 区 …… 20
檜 山 学 区 …… 21
上川南学区 …… 22
上川北学区 …… 23
留 萌 学 区 …… 24
宗 谷 学 区 …… 25
オホーツク中学区 …… 26
オホーツク東学区 …… 27
オホーツク西学区 …… 28
十 勝 学 区 …… 29
釧 路 学 区 …… 30
根 室 学 区 …… 31

Ⅰ　公立高等学校配置計画（平成23年度～25年度）策定の考え方

１　趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下、「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者数（以下、「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な個性、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、平成23年度から25年度までの高校配置の計画を策定するとともに、平成26年度から29年度までの見通しを示したものである。

２　中卒者数の見込み

本道の中卒者数は、平成23年に48,766人、平成24年に48,773人、平成25年に47,877人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

３　基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」（以下、「新たな指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを図る観点から、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行うとともに、都市部において複数の高校が設置されている場合、望ましい規模の学校についても、地域の実情などに応じて再編整備を実施する。

また、生徒の多様な学習ニーズに対応するため、次のとおり新しい高校づくり等を推進する。

(1) 地域キャンパス校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い(普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4)第1学年1学級の高校を地域キャンパス校とし、センター校からの出張授業や通信機器を活用した教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

(2) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を再編にあわせて進める。

(3) 普通科単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

(4) フィールド制の導入

普通科の特色づくりとして、まとまりのある分野の科目群をフィールドとして設定し、興味・関心や進路希望等に応じて自分でフィールドを選択して学習することが可能となるフィールド制の導入を進める。

(5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を図る。

(6) 産業キャンパスの活用

職業学科を含めた再編の際にあわせ、産業教育施設や実習地などを有効に活用するため、産業キャンパス化について検討する。

4 配置計画（平成23年度～25年度）の概要

昨年決定した平成23年度及び平成24年度の計画を一部変更するとともに、新たに平成25年度の配置計画を策定する。

(1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、１学級の定員は40人とする。

(2) 平成23年度～24年度(平成21年度決定)高校配置計画の変更

全日制課程

ア　学級増減

平成22年度の入学者選抜の結果、第２次募集後の入学者に１学級相当以上の欠員が生じ、１学級減を行った浜頓別高校、佐呂間高校、湧別高校、上士幌高校及び町立霧多布高校について、平成23年度にそれぞれ１学級の増を行う。

イ　職業学科の学科転換

地域の状況及び生徒の進路動向、地域からの要望などを考慮し、平成23年度に留萌千望高校において、「建設科」を「電気・建築科」に学科転換を行う。

ウ　中高一貫教育

連携型中高一貫教育を導入している長万部高校について、平成23年度から１学年１学級となることから、平成24年度末で連携型中高一貫教育を終了する。

エ　その他

平成24年度に浦河高校及び様似高校の再編により設置する新設校の学科等については、地元ニーズ等を踏まえ、幅広い進路希望に対応できる総合学科とする。

(3) 平成25年度高校配置計画

全日制課程

ア　学級増減

各通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、２校で２学級の増を行うとともに、６校で６学級の減を行う。

イ　再編整備

札幌市において、今後の中卒者数の状況や学校・学科の配置状況などを勘案し、一定の学校規模を維持し、幅広い教育課程の編成・実施を図る観点から、札幌篠路高校及び札幌拓北高校において再編整備を実施する。

なお、再編後の新設校の学級数については、８学級とする。

また、中卒者数の状況、学校規模、募集定員に対する欠員の状況、地元からの進学率、通学区域における同一学科の設置状況などを総合的に勘案し、赤平高校及び戸井高校を募集停止とする。

ウ　普通科単位制の導入

生徒の学校選択幅を拡大するため、札幌東陵高校、札幌篠路高校及び札幌拓北高校を再編した新設校並びに富良野高校に導入する。

エ　地域キャンパス校の導入

今後の中卒者数の状況などを考慮し、平成25年度から新たに阿寒高校を地域キャンパス校とする。

オ　総合学科の設置

生徒の幅広い進路希望に対応した特色ある学校づくりを推進するため、札幌厚別高校に新たに設置する。

５ 配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、通学区域における中卒者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

(1) 入学者選抜における第２次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し１学級相当以上の欠員が生じた場合。

(2) ５月１日現在の第１学年の在籍者が新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合。

(3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合。

Ⅱ　公立高等学校配置計画（平成23年度～25年度）内容

1　中学校卒業者数

平成22年（実績）	51,437人	（対前年比 900人増加）
平成23年（推計）	48,766人	（対前年比 2,671人減少）
平成24年（推計）	48,773人	（対前年比 7人増加）
平成25年（推計）	47,877人	（対前年比 896人減少）

2　欠員の状況（平成22年5月1日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合　　計
2,127人　（-452人）	895人　（8人）	2,501人　（-750人）	5,523人　（-1,194人）

※（　）は対前年増減

3　定員及び中学校卒業者に対する割合

区　分			公立			高等専門学校	私立	計
			全日制	定時制	中等教育学校			
平成22年度		定　員（人）	39,120	2,680	80	760	12,873	55,513
		割　合（%）	76.1	5.2	0.2	1.5	25.0	107.9
公立高等学校配置計画	平成23年度	学級増（人）	200	0	0	0	0	200
		学級減（人）	-1,200	0	0	0	-408	-1,608
		新　設（人）	880	0	0	0	0	880
		廃　止（人）	-1,400	-40	0	0	-155	-1,595
		差引増減（人）	-1,520	-40	0	0	-563	-2,123
		定　員（人）	37,600	2,640	80	760	12,310	53,390
		割　合（%）	77.1	5.4	0.2	1.6	25.2	109.5
	平成24年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0
		学級減（人）	-40	0	0	0	0	-40
		新　設（人）	160	0	0	0	0	160
		廃　止（人）	-200	0	0	0	0	-200
		差引増減（人）	-80	0	0	0	0	-80
		定　員（人）	37,520	2,640	80	760	12,310	53,310
		割　合（%）	76.9	5.4	0.2	1.6	25.2	109.3
	平成25年度	学級増（人）	80	0	0	0	0	80
		学級減（人）	-240	0	0	0	0	-240
		新　設（人）	320	0	0	0	0	320
		廃　止（人）	-640	0	0	0	0	-640
		差引増減（人）	-480	0	0	0	0	-480
		定　員（人）	37,040	2,640	80	760	12,310	52,830
		割　合（%）	77.4	5.5	0.2	1.6	25.7	110.3

＊高等専門学校の定員については、平成23年度分のみ決定済み。

＊私立の定員については、平成23年度分（見込み）を記載。

４　配置計画（平成23年度～25年度）の学校別内訳

◎ 平成22年度入学者選抜における第２次募集後の学級減

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科（学科名は小学科）	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｈ２２	空知南	道	栗山	全	普通	４	３	－１	４学級→３学級
	後志	道	倶知安	全	普通	５	４	－１	５学級→４学級
	檜山	道	江差	全	普通	４	３	－１	４学級→３学級
	上川北	道	士別翔雲	全	普通	４	３	－１	５学級→４学級
	宗谷	道	浜頓別	全	普通	２	１	－１	２学級→１学級
	ｵﾎｰｯｸ中	道	留辺藥	全	総合	３	２	－１	３学級→２学級
		道	佐呂間	全	普通	２	１	－１	２学級→１学級
	ｵﾎｰｯｸ西	道	湧別	全	普通	２	１	－１	２学級→１学級
	十勝	道	上士幌	全	普通	２	１	－１	２学級→１学級
	釧路	町	霧多布	全	普通	２	１	－１	２学級→１学級
計			１０校					－１０（－４００）	

◎ 平成23～25年度高校配置計画／全日制課程

(1) 学級増減

① 学級増（学校名の前の※印は、平成21年度に決定した配置計画からの変更。）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科（学科名は小学科）	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｈ２３	宗谷	道	※浜頓別	全	普通	１	２	＋１	１学級→２学級
	ｵﾎｰｯｸ中	道	※佐呂間	全	普通	１	２	＋１	１学級→２学級
	ｵﾎｰｯｸ西	道	※湧別	全	普通	１	２	＋１	１学級→２学級
	十勝	道	※上士幌	全	普通	１	２	＋１	１学級→２学級
	釧路	町	※霧多布	全	普通	１	２	＋１	１学級→２学級
	（小計）		５校					＋５	
Ｈ２４	－								
Ｈ２５	石狩	道	札幌厚別	全	普通	６	０	－６	６学級→７学級
					総合	０	７	＋７	
		道	札幌手稲区新設校	全	普通	７	８	＋１	７学級→８学級
	（小計）		２校					＋２	
計			７校					＋７（＋２８０）	

＊Ｈ２５の札幌手稲区新設校は、札幌稲西、札幌稲北の再編によりＨ２３に新設する高校。

② 学級減

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科（学科名は小学科）	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｈ２３	空知北	道	滝川工業	全	土木	１	０	－１	３学級→２学級
	石狩	道	札幌南陵	全	普通	８	６	－２	８学級→６学級
		道	札幌厚別	全	普通	８	６	－２	８学級→６学級
		道	札幌真栄	全	普通	８	６	－２	８学級→６学級
		道	札幌篠路	全	普通	８	７	－１	８学級→７学級
		道	札幌拓北	全	普通	８	７	－１	８学級→７学級
		道	札幌白陵	全	普通	６	４	－２	６学級→４学級
		道	江別	全	普通	６	５	－１	９学級→８学級
		道	野幌	全	普通	９	８	－１	９学級→８学級
		道	大麻	全	普通	９	８	－１	９学級→８学級
		道	北広島	全	普通	９	８	－１	９学級→８学級

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｈ２３	後志	道	小樽商業	全	商業	2	1	－1	４学級→３学級
		道	小樽工業	全	情報技術	1	0	－1	４学級→３学級
	胆振西	道	伊達	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
	渡島	道	函館西	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
		道	函館稜北	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
		道	長万部	全	商業	1	0	－1	２学級→１学級
	上川南	道	旭川東栄	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
		道	富良野	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
	留萌	道	留萌千望	全	電気システム	1	0	－1	３学級→２学級
	釧路	道	釧路湖陵	全	普通	6	5	－1	７学級→６学級
		道	釧路江南	全	普通	7	6	－1	７学級→６学級
		道	釧路商業	全	情報処理	2	1	－1	６学級→５学級
		道	釧路工業	全	土木	2	1	－1	７学級→６学級
		道	釧路東	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
	根室	道	根室西	全	普通	3	2	－1	３学級→２学級
	（小計）		２６校					－３０	
Ｈ２４	釧路	道	阿寒	全	普通	2	1	－1	２学級→１学級
	（小計）		１校					－1	
Ｈ２５	空知南	道	岩見沢東	全	普通	6	5	－1	６学級→５学級
	胆振西	道	室蘭清水丘	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
		道	虻田	全	商業	2	1	－1	２学級→１学級
	ｵﾎｰｯｸ中	道	北見緑陵	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
	十勝	道	帯広緑陽	全	普通	5	4	－1	５学級→４学級
		道	新得	全	普通	2	1	－1	２学級→１学級
	（小計）		６校					－6	
計			３３校					－３７ (－1,480)	

(2) 再編整備

① 再編統合(学科名の前の※印は、平成21年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	１学年総学級数
Ｈ２３	空知南	道	美唄(母体校)	全	普通	2	0	－2	５学級→０学級
				全	情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ	1	0	－1	
				全	食品ｼｽﾃﾑ	1	0	－1	
				全	生活ﾃﾞｻﾞｲﾝ	1	0	－1	
		道	美唄工業	全	電子機械	1	0	－1	２学級→０学級
				全	電気システム	1	0	－1	
		道	新設校	全	総合	0	5	＋5	０学級→５学級
	石狩	道	札幌稲西	全	普通	7	0	－7	７学級→０学級
		道	札幌稲北(母体校)	全	普通	7	0	－7	７学級→０学級
		道	札幌手稲区新設校	全	普通	0	7	＋7	０学級→７学級

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	1学年総学級数
Ｈ２３	宗谷	道	稚内(母体校)	全	普通	4	0	－4	5学級→0学級
				全	衛生看護	1	0	－1	
		道	稚内商工	全	機械	1	0	－1	2学級→0学級
				全	商業	1	0	－1	
		道	新設校	全	普通	0	4	＋4	0学級→6学級
				全	商業	0	1	＋1	
				全	衛生看護	0	1	＋1	
	オホーツク中	道	美幌	全	普通	2	0	－2	2学級→0学級
		道	美幌農業(母体校)	全	生活科学	1	0	－1	3学級→0学級
				全	農業科学	1	0	－1	
				全	食品科学	1	0	－1	
		道	新設校	全	普通	0	2	＋2	0学級→4学級
				全	生産環境科学	0	1	＋1	
				全	地域資源応用	0	1	＋1	
	(小計)		再編に伴う募停校8校、再編統合による新設校4校					－11（33学級の減、新設校で22学級の増）	
Ｈ２４	日高	道	浦河(母体校)	全	普通	4	0	－4	4学級→0学級
		道	様似	全	商業	1	0	－1	1学級→0学級
		道	新設校	全	※総合	0	4	＋4	0学級→4学級
	(小計)		再編に伴う募停校2校、再編統合による新設校1校					－1（5学級の減、新設校で4学級の増）	
Ｈ２５	石狩	道	札幌篠路(母体校)	全	普通	7	0	－7	7学級→0学級
		道	札幌拓北	全	普通	7	0	－7	7学級→0学級
		道	札幌北区新設校	全	普通	0	8	＋8	0学級→8学級
	(小計)		再編に伴う募停校2校、再編統合による新設校1校					－6（14学級の減、新設校で8学級の増）	
計			再編に伴う募停校12校 再編統合校 6校					－18 (－720)	

＊再編に伴う新設校は(母体校)と表示した校舎を活用する。

② 募集停止

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数 実施前	募集学級数 実施後	学級増減数	1学年総学級数
Ｈ２３	檜山	町	瀬棚商業	全	情報ﾋﾞｼﾞﾈｽ	1	0	－1	1学級→0学級
	上川北	道	中川商業	全	商業	1	0	－1	1学級→0学級
	(小計)		2校					－2	
Ｈ２４	－								
Ｈ２５	空知北	道	赤平	全	普通	1	0	－1	1学級→0学級
	渡島	道	戸井	全	普通	1	0	－1	1学級→0学級
	(小計)		2校					－2	
計			4校					－4 (－160)	

(3) 地域キャンパス校の導入

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数	センター校	備考
Ｈ２３	－							
Ｈ２４	－							
Ｈ２５	釧路	道	阿寒	全	普通	1	釧路湖陵	－
	(小計)		1校				1校	
計			1校				1校	

(4) 総合学科の設置(学校名の前の※印は、平成21年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学区	設置	学校名	課程	募集学級数	備考
Ｈ２３	空知南	道	新設校	全	5	美唄･美唄工業の再編
	(小計)		1校			
Ｈ２４	日高	道	※新設校	全	4	浦河･様似の再編
	(小計)		1校			
Ｈ２５	石狩	道	札幌厚別	全	7	普通科から総合学科に転換
	(小計)		1校			
計			3校			

(5) 普通科単位制の導入

実施年度	学区	設置	学校名	課程	募集学級数	備考
Ｈ２３	石狩	道	札幌白陵	全	4	
		道	北広島	全	8	
	後志	道	小樽桜陽	全	6	
	ｵﾎｰﾂｸ西	道	遠軽	全	5	
	(小計)		4校			
Ｈ２４	石狩	道	大麻	全	8	
	(小計)		1校			
Ｈ２５	石狩	道	札幌東陵	全	8	
		道	札幌北区新設校	全	8	札幌篠路・札幌拓北の再編
	上川南	道	富良野	全	4	
	(小計)		3校			
計			8校			

(6) フィールド制の導入

実施年度	学区	設置	学校名	課程	募集学級数	備考
Ｈ２３	石狩	道	札幌手稲区新設校	全	7	札幌稲西・札幌稲北の再編
		道	千歳北陽	全	8	
	(小計)		2校			
Ｈ２４	－					
Ｈ２５	－					
計			2校			

(7) 職業学科の学科転換（再編によるものを除く）（学校名の前の※印は、平成21年度に決定した配置計画からの変更。）

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	備考
						実施前	実施後		
Ｈ２３	留萌	道	※留萌千望	全	建設科	１	０	－１	
				全	電気・建築科	０	１	＋１	
	（小計）		１校						
Ｈ２４	－								
Ｈ２５	－								
計			１校						

◎ 平成23～25年度高校配置計画／定時制課程

実施年度	学区	設置	学校名	課程	学科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	１学年総学級数
						実施前	実施後		
Ｈ２３	後志	道	小樽潮陵	定	普通	１	１	±０	１学級（2校の定時制課程を再編）
			小樽商業	定	商業	１	０	－１	１学級→０学級
	（小計）		１校					－１	
Ｈ２４	－								
Ｈ２５	－								
計			１校					－１ （－４０）	

５　中学校卒業者の推計及び推移

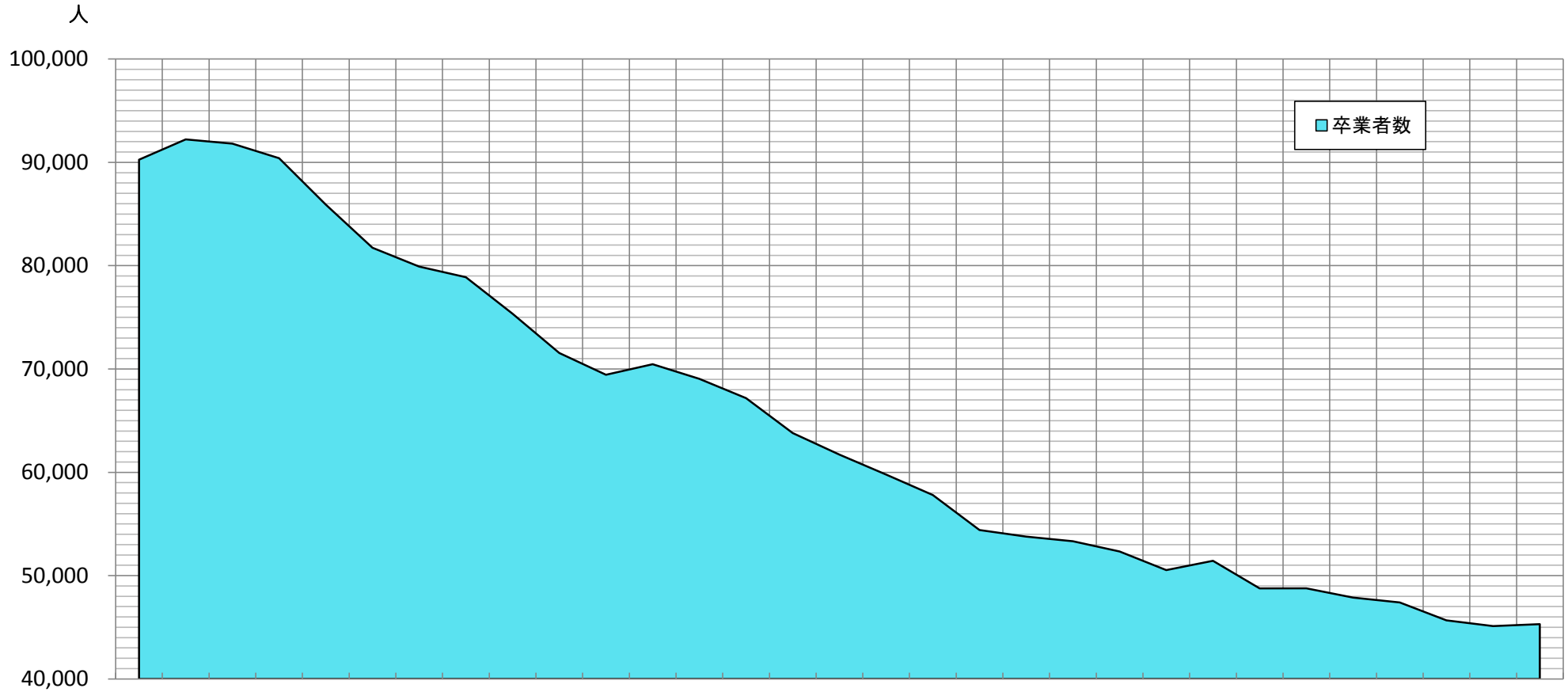
中　学　校　卒　業　者　推　計　表　（　22　年　推　計　）

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
空知南	1,597	1,602 ＋5	1,516 ▲ 86	1,481 ▲ 35	1,476 ▲ 5	1,359 ▲ 117	1,281 ▲ 78	1,245 ▲ 36
空知北	1,410	1,292 ▲ 118	1,220 ▲ 72	1,213 ▲ 7	1,191 ▲ 22	1,177 ▲ 14	1,142 ▲ 35	1,144 ＋2
石狩	21,985	20,696 ▲ 1,289	20,843 ＋147	20,655 ▲ 188	20,428 ▲ 227	19,751 ▲ 677	19,641 ▲ 110	19,823 ＋182
後志	2,030	1,873 ▲ 157	1,872 ▲ 1	1,914 ＋42	1,793 ▲ 121	1,694 ▲ 99	1,676 ▲ 18	1,699 ＋23
胆振西	1,746	1,681 ▲ 65	1,732 ＋51	1,602 ▲ 130	1,663 ＋61	1,626 ▲ 37	1,547 ▲ 79	1,636 ＋89
胆振東	1,988	2,029 ＋41	1,964 ▲ 65	1,939 ▲ 25	1,893 ▲ 46	1,894 ＋1	1,817 ▲ 77	1,860 ＋43
日高	768	709 ▲ 59	684 ▲ 25	684 ±0	646 ▲ 38	575 ▲ 71	644 ＋69	588 ▲ 56
渡島	3,961	3,832 ▲ 129	3,830 ▲ 2	3,792 ▲ 38	3,659 ▲ 133	3,586 ▲ 73	3,442 ▲ 144	3,309 ▲ 133
檜山	373	341 ▲ 32	364 ＋23	346 ▲ 18	322 ▲ 24	302 ▲ 20	306 ＋4	308 ＋2
上川南	4,078	3,937 ▲ 141	3,947 ＋10	3,819 ▲ 128	3,882 ＋63	3,872 ▲ 10	3,762 ▲ 110	3,846 ＋84
上川北	616	586 ▲ 30	607 ＋21	584 ▲ 23	588 ＋4	533 ▲ 55	500 ▲ 33	570 ＋70
留萌	464	420 ▲ 44	403 ▲ 17	408 ＋5	389 ▲ 19	362 ▲ 27	346 ▲ 16	344 ▲ 2
宗谷	633	564 ▲ 69	616 ＋52	533 ▲ 83	565 ＋32	546 ▲ 19	550 ＋4	550 ±0
オホーツク中	1,566	1,544 ▲ 22	1,512 ▲ 32	1,513 ＋1	1,436 ▲ 77	1,420 ▲ 16	1,374 ▲ 46	1,350 ▲ 24
オホーツク東	645	614 ▲ 31	576 ▲ 38	631 ＋55	594 ▲ 37	566 ▲ 28	596 ＋30	548 ▲ 48
オホーツク西	620	603 ▲ 17	603 ±0	637 ＋34	593 ▲ 44	529 ▲ 64	568 ＋39	528 ▲ 40
十勝	3,496	3,375 ▲ 121	3,441 ＋66	3,166 ▲ 275	3,417 ＋251	3,190 ▲ 227	3,184 ▲ 6	3,110 ▲ 74
釧路	2,585	2,260 ▲ 325	2,229 ▲ 31	2,174 ▲ 55	2,108 ▲ 66	1,981 ▲ 127	2,000 ＋19	2,048 ＋48
根室	876	808 ▲ 68	814 ＋6	786 ▲ 28	763 ▲ 23	710 ▲ 53	742 ＋32	800 ＋58
合計	51,437	48,766 ▲ 2,671	48,773 ＋7	47,877 ▲ 896	47,406 ▲ 471	45,673 ▲ 1,733	45,118 ▲ 555	45,306 ＋188

※中学校卒業者数は、平成22年5月1日現在の小学校1年生から中学校3年生までの在籍児童･生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。
※平成22年は実数、平成23年以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

北海道における中学校卒業（見込）者の推移
（昭和62年～平成29年）

（注）１　昭和62年３月～平成22年３月は実卒業者数である。
　　２　平成23年３月～平成29年３月は学校基本調査（平成22年５月１日現在）に準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
卒業者数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,550	69,441	70,462	69,047	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,766	48,773	47,877	47,406	45,673	45,118	45,306
増減	1,298	1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,798	-2,109	1,021	-1,415	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	900	-2,671	7	-896	-471	-1,733	-555	188

Ⅲ　公立高等学校配置計画（平成23年度～平成25年度）学区別個表

空知南学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	1,597	1,602	1,516	1,481	1,476	1,359	1,281	1,245	▲ 352
対前年増減		＋５	▲ 86	▲ 35	▲ 5	▲ 117	▲ 78	▲ 36	
岩見沢市中卒者数	（ 808 ）	（ 815 ）	（ 790 ）	（ 769 ）	（ 801 ）	（ 725 ）	（ 689 ）	（ 689 ）	▲ 119
対前年増減		＋７	▲ 25	▲ 21	＋32	▲ 76	▲ 36	± 0	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
岩見沢東	6		6	3			普▲1	○4年間で５～６学級相当の調整が必要	
単　岩見沢西	4		4	9				○岩見沢市内において、市立高校を含めた高校配置のあり方について検討が必要	
岩見沢農業		農　7	7	-4					
*岩見沢緑陵	4	商　2	6	7					
美　唄	2	農商家　3	5	82	普▲2、農▲1 商▲1、家▲1				母体校
美唄工業		工　2	2	23	工▲2				
新　設　校					総合学科設置 総＋５				
美唄聖華		看　2	2	0					
月　形	2		2	6					
夕　張	2		2	32					
長　沼	2		2	0					
栗　山	4→3		3	9					H22二次募集後学級減
南　幌	2		2	16					
12校	28→27	16	43	183	普▲2、農▲1 商▲1、家▲1 工▲2 総＋５		普▲1		

注１　学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。（以下同）

注２　学校名の「単」は全日制普通科単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域キャンパス校、「産」は産業キャンパス。（以下同）

注３　学校名の＊は市町村立学校。（以下同）

注４　（　　）は定時制課程（計欄には含まない、関係学校のみ表示）。（以下同）

注５　平成22年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。（以下同）

注６「平成26～29年度までの見通し」欄の学級数の調整については平成29年度と平成25年度の中卒者数の比較により算出。（以下同）

空知北学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	1,410	1,292	1,220	1,213	1,191	1,177	1,142	1,144	▲ 266
対前年増減		▲ 118	▲ 72	▲ 7	▲ 22	▲ 14	▲ 35	＋ 2	
滝川市中卒者数	(416)	(382)	(384)	(359)	(362)	(356)	(347)	(344)	▲ 72
対前年増減		▲ 34	＋ 2	▲ 25	＋ 3	▲ 6	▲ 9	▲ 3	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
滝　川	6		6	0				○４年間で１～２学級相当の調整が必要	
滝川工業		工 3	3	31	工▲1			○滝川市内において、市立高校を含めた高校配置のあり方について検討が必要	
*滝 川 西	3	商 4	7	5					
単　砂　川	4		4	-1					
奈井江商業		商 2	2	40					
新十津川農業		農 1	1	-1					
芦　別	4	商 1	5	31					
赤　平	1		1	19			普▲1		
深 川 西	4		4	4					
深 川 東		農・商 4	4	31					
10校	22	15	37	159	工▲1		普▲1		

石狩学区高校配置計画

	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
石狩学区中卒者数	21,985	20,696	20,843	20,655	20,428	19,751	19,641	19,823	▲ 2,162
対前年増減		▲ 1,289	＋ 147	▲ 188	▲ 227	▲ 677	▲ 110	＋ 182	
札幌市中卒者数	(17,060)	(16,204)	(16,363)	(16,147)	(16,145)	(15,677)	(15,531)	(15,753)	▲ 1,307
対前年増減		▲ 856	＋ 159	▲ 216	▲ 2	▲ 468	▲ 146	＋ 222	
江別市中卒者数	(1,580)	(1,433)	(1,388)	(1,377)	(1,225)	(1,205)	(1,158)	(1,117)	▲ 463
対前年増減		▲ 147	▲ 45	▲ 11	▲ 152	▲ 20	▲ 47	▲ 41	
千歳市中卒者数	(940)	(924)	(904)	(926)	(933)	(853)	(854)	(879)	▲ 61
対前年増減		▲ 16	▲ 20	＋ 22	＋ 7	▲ 80	＋ 1	＋ 25	
恵庭市中卒者数	(771)	(665)	(723)	(751)	(663)	(640)	(694)	(656)	▲ 115
対前年増減		▲ 106	＋ 58	＋ 28	▲ 88	▲ 23	＋ 54	▲ 38	
北広島市中卒者数	(753)	(664)	(673)	(630)	(667)	(674)	(639)	(676)	▲ 77
対前年増減		▲ 89	＋ 9	▲ 43	＋ 37	＋ 7	▲ 35	＋ 37	
石狩市中卒者数	(611)	(544)	(552)	(585)	(570)	(508)	(584)	(564)	▲ 47
対前年増減		▲ 67	＋ 8	＋ 33	▲ 15	▲ 62	＋ 76	▲ 20	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
札 幌 東	8		8	-2				○４年間で１４～１５学級相当の調整が必要 ○札幌市内については、中卒者数の減にあわせて再編の検討が必要	
札 幌 西	8		8	0					
札 幌 南	8		8	0					
札 幌 北	8		8	-2					
札幌月寒	8		8	-6					
札幌啓成	8		8	-4					
札幌北陵	8		8	0					
単　札幌手稲	8		8	-4					
フ　札幌丘珠	8		8	0					
札幌西陵	8		8	-1					
単　札幌白石	8		8	1					
札幌東陵	8		8	-2			普通科単位制導入		
札幌南陵	8		8	0	普▲２				
札幌東豊	8		8	1					
札幌厚別	8		8	0	普▲２		普▲６ 総合学科設置 総＋７		
札幌真栄	8		8	-1	普▲２				
札幌稲西	7		7	-1	普▲７				
札幌稲北	7		7	-1	普▲７				母体校
新　設　校					普＋７ フィールド制導入		普＋１		
札幌稲雲	7		7	-1					
フ　札幌平岡	8		8	0					

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
札幌篠路	8		8	-1	普▲1		普▲7		母体校
札幌拓北	8		8	0	普▲1		普▲7		
新　設　校							普＋8 普通科単位制導入		
札幌白陵	6		6	-5	普▲2 普通科単位制導入				
札幌国際情報	4	工・商 4	8	0					
江　別	6	商・家 3	9	0	普▲1				
フ 野　幌	9		9	2	普▲1				
大　麻	9		9	-3	普▲1	普通科単位制導入			
千　歳	7	商　2	9	0					
千歳北陽	8		8	2	フィールド制導入				
北 広 島	9		9	0	普▲1 普通科単位制導入				
北広島西	8		8	0					
石 狩 南	8		8	-1					
当　別	3	農・家 2	5	0					
恵 庭 南	8		8	0					
恵 庭 北	8		8	-1					
札幌工業		工　8	8	-2					
札幌琴似工業		工　8	8	8					
札幌東商業		商　8	8	0					
総　石狩翔陽	8		8	-1					
単　*札幌旭丘	8		8	-2					
*札幌藻岩	8		8	1					
*札幌平岸	8		8	-1					
*札幌清田	8		8	-3					
*札幌開成	8		8	-3					
*札幌新川	8		8	0					
*札幌啓北商業		商　6	6	0					
46校	322	41	363	-33	普▲２８ 普＋７		普▲２０ 普＋９、総＋７		

後志学区高校配置計画

区　分	H２２	H２３	H２４	H２５	H２６	H２７	H２８	H２９	H29-H22
学区内中卒者数	2,030	1,873	1,872	1,914	1,793	1,694	1,676	1,699	▲ 331
対前年増減		▲ 157	▲ 1	＋ 42	▲ 121	▲ 99	▲ 18	＋ 23	
小樽市中卒者数	（ 1,100 ）	（ 1,030 ）	（ 989 ）	（ 1,054 ）	（ 963 ）	（ 924 ）	（ 921 ）	（ 901 ）	▲ 199
対前年増減		▲ 70	▲ 41	＋ 65	▲ 91	▲ 39	▲ 3	▲ 20	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
小樽潮陵	7		7	-3				○４年間で３～４学級相当の調整が必要	
小樽桜陽	6		6	0	普通科単位制導入			○小樽市内について、職業学科の配置のあり方を含めた再編の検討が必要	
小樽商業		商　4	4	6	商▲１				
小樽工業		工　4	4	-2	工▲１				
小樽水産		水　4	4	4					
〔小樽潮陵〕	〔1〕		〔1〕	―	〔商▲１〕				
〔小樽商業〕		（商）（1）	〔1〕	―					
総　余市紅志	4		4	24					
岩　内	3	商　1	4	4					寿都のセンター校
地　寿　都	1		1	17					
共　和	1		1	14					
単　倶知安	5→4		4	10					蘭越のセンター校 H22二次募集後学級減
地　蘭　越	1		1	15					
倶知安農業		農　1	1	5					
12校	28→27	14	41	94	商▲１、工▲１〔商▲１〕				

胆振西学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	1,746	1,681	1,732	1,602	1,663	1,626	1,547	1,636	▲ 110
対前年度増減		▲ 65	＋ 51	▲ 130	＋ 61	▲ 37	▲ 79	＋ 89	
室蘭市中卒者数	(706)	(739)	(735)	(698)	(742)	(718)	(682)	(741)	＋ 35
対前年度増減		＋ 33	▲ 4	▲ 37	＋ 44	▲ 24	▲ 36	＋ 59	
登別市中卒者数	(523)	(513)	(498)	(491)	(474)	(452)	(451)	(473)	▲ 50
対前年度増減		▲ 10	▲ 15	▲ 7	▲ 17	▲ 22	▲ 1	＋ 22	
伊達市中卒者数	(353)	(290)	(338)	(296)	(307)	(315)	(301)	(300)	▲ 53
対前年度増減		▲ 63	＋ 48	▲ 42	＋ 11	＋ 8	▲ 14	▲ 1	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
室 蘭 栄	6		6	3				○４年間で０～１学級相当の調整が必要	
単 室蘭清水丘	5		5	0			普▲1	○伊達市内において再編を検討するとともに、周辺町村においても配置について検討が必要	
総 室蘭東翔	5		5	3					
室蘭工業		工 5	5	-4					
登別青嶺	4		4	0					
伊　達	5		5	3	普▲1				
伊達緑丘	4		4	5					
虻　田		商 2	2	41			商▲1		
*洞　爺		家 1	1	9					
*壮　瞥		農 1	1	22					
10校	29	9	38	82	普▲1		普▲1、商▲1		

胆振東学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	1,988	2,029	1,964	1,939	1,893	1,894	1,817	1,860	▲ 128
対前年度増減		＋ 41	▲ 65	▲ 25	▲ 46	＋ 1	▲ 77	＋ 43	
苫小牧市中卒者数	（ 1,611 ）	（ 1,635 ）	（ 1,600 ）	（ 1,568 ）	（ 1,544 ）	（ 1,573 ）	（ 1,493 ）	（ 1,581 ）	▲ 30
対前年度増減		＋ 24	▲ 35	▲ 32	▲ 24	＋ 29	▲ 80	＋ 88	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
苫小牧東	7		7	1				○４年間で１～２学級相当の調整が必要	厚真のセンター校
苫小牧西	4		4	-2					穂別のセンター校
単　苫小牧南	5		5	-1					
苫小牧工業		工 6	6	0					
苫小牧総合経済		商 4	4	-1					
白 老 東	3		3	0					
地　厚　真	1		1	1					
地　穂　別	1		1	4					
追　分	1		1	2					
中高　鵡　川	2		2	24					
10校	24	10	34	28					

日高学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	768	709	684	684	646	575	644	588	▲ 180
対前年度増減		▲ 59	▲ 25	± 0	▲ 38	▲ 71	＋ 69	▲ 56	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
単　静　内	5		5	1				○４年間で２～３学級相当の調整が必要	平取のセンター校
静内農業		農 2	2	6					
富　川	1	商 1	2	28					
地　平　取	1		1	0					
浦　河	4		4	17		普▲４			母体校
様　似		商 1	1	12		商▲１			
新　設　校						総合学科設置 総＋４ （計画変更）			
中高 *え り も	2		2	37					
7校	13	4	17	101		普▲４、商▲１ 総＋４			

渡島学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	3,961	3,832	3,830	3,792	3,659	3,586	3,442	3,309	▲ 652
対前年増減		▲ 129	▲ 2	▲ 38	▲ 133	▲ 73	▲ 144	▲ 133	
函館市中卒者数	(2,537)	(2,467)	(2,364)	(2,404)	(2,282)	(2,269)	(2,201)	(2,120)	▲ 417
対前年増減		▲ 70	▲ 103	＋ 40	▲ 122	▲ 13	▲ 68	▲ 81	
北斗市中卒者数	(503)	(487)	(533)	(511)	(510)	(494)	(465)	(460)	▲ 43
対前年増減		▲ 16	＋ 46	▲ 22	▲ 1	▲ 16	▲ 29	▲ 5	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
函館中部	6		6	1				○４年間で７～８学級相当の調整が必要	南茅部のセンター校
函 館 西	5		5	0	普▲1			○函館市内については再編を検討することとし、定時制課程の配置のあり方についても併せて検討が必要	
函館稜北	5		5	1	普▲1				
単 ＊市立函館	8		8	-1					
函館水産		水 4	4	0					
函館商業		商 5	5	-1					福島商業のセンター校
函館工業		工 6	6	0					
戸　井	1		1	13			普▲1		
地 南 茅 部	1		1	10					
上　磯	2		2	1					
七　飯	3		3	0					
大野農業		農 4	4	25					
松　前	2		2	8					
＊知 内	2		2	21					
地 福島商業		商 1	1	14					
八　雲	3	商 1	4	52					熊石のセンター校
地 熊　石	1		1	23					
総　森	4		4	32					
中高 長 万 部	1	商 1	2	49	商▲1	中高一貫教育終了（計画変更）			
19校	44	22	66	248	普▲2、商▲1		普▲1		

檜山学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	373	341	364	346	322	302	306	308	▲ 65
対前年増減		▲ 32	＋ 23	▲ 18	▲ 24	▲ 20	＋ 4	＋ 2	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
単　江　差	4→3		3	7				○４年間で０～１学級相当の調整が必要	H22二次募集後学級減
上ノ国	1		1	10				○学区全体の高校配置のあり方について検討が必要	
総　檜山北	3		3	24					
奥　尻	1		1	21					
*瀬棚商業		商 1	1	30	商▲1				
5校	9→8	1	9	92	商▲1				

上川南学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	4,078	3,937	3,947	3,819	3,882	3,872	3,762	3,846	▲ 232
対前年度増減		▲ 141	＋ 10	▲ 128	＋ 63	▲ 10	▲ 110	＋ 84	
旭川市中卒者数	(3,095)	(3,013)	(2,938)	(2,867)	(2,967)	(2,869)	(2,830)	(2,917)	▲ 178
対前年度増減		▲ 82	▲ 75	▲ 71	＋ 100	▲ 98	▲ 39	＋ 87	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
旭 川 東	7		7	0				○４年間で０～１学級相当の調整が必要	
旭 川 西	6		6	0				○旭川市内において再編を検討するとともに、周辺町村においても配置について検討が必要	
単 旭 川 北	6		6	1					
総 旭 川 南	6		6	-2					
旭川凌雲	5		5	-2					
旭川東栄	5		5	-3	普▲1				
旭川商業		商 6	6	0					
旭川工業		工 7	7	0					
旭川農業		農 4	4	-3					
鷹　栖	1		1	0					
東　川	2		2	0					
美　瑛	2		2	5					
中高 上　川	2		2	9					
富 良 野	5		5	7	普▲1		普通科単位制導入		
富良野緑峰		農工商 4	4	27					
上富良野	1		1	-2					
*南富良野	1		1	29					
17校	49	21	70	66	普▲2				

上川北学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	616	586	607	584	588	533	500	570	▲ 46
対前年度増減		▲ 30	＋ 21	▲ 23	＋ 4	▲ 55	▲ 33	＋ 70	
士別市中卒者数	(195)	(190)	(208)	(205)	(178)	(193)	(162)	(179)	▲ 16
対前年度増減		▲ 5	＋ 18	▲ 3	▲ 27	＋ 15	▲ 31	＋ 17	
名寄市中卒者数	(262)	(260)	(242)	(237)	(254)	(207)	(227)	(248)	▲ 14
対前年度増減		▲ 2	▲ 18	▲ 5	＋ 17	▲ 47	＋ 20	＋ 21	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
士別翔雲	4→3	商 1	4	6				○４年間で０～１学級相当の調整が必要	下川商業のセンター校 H22二次募集後学級減
地　下川商業		商 1	1	4					
名　寄	4		4	-1					美深のセンター校
地　美　深	1		1	8					
産　名寄産業		工農家 4	4	32					
中川商業		商 1	1	27	商▲1				
総　*剣　淵	1		1	-2					
*おといねっぷ美術工芸	1		1	0					
8校	11→10	7	17	74	商▲1				

留萌学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	464	420	403	408	389	362	346	344	▲ 120
対前年度増減		▲ 44	▲ 17	＋5	▲ 19	▲ 27	▲ 16	▲ 2	
留萌市中卒者数	（ 230 ）	（ 193 ）	（ 190 ）	（ 185 ）	（ 178 ）	（ 164 ）	（ 168 ）	（ 161 ）	▲ 69
対前年度増減		▲ 37	▲ 3	▲ 5	▲ 7	▲ 14	＋4	▲ 7	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
留　萌	4		4	0				○４年間で１～２学級相当の調整が必要	苫前商業のセンター校
留萌千望		商・工 3	3	23	工▲１ 学科転換 （建設→電気・建築） （計画変更）			○留萌市内において再編の検討が必要	
羽　幌	2		2	20					
地　苫前商業		商 1	1	15					
天　塩	2		2	29					
遠別農業		農 1	1	16					
6校	8	5	13	103	工▲1				

宗谷学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	633	564	616	533	565	546	550	550	▲ 83
対前年度増減		▲ 69	＋ 52	▲ 83	＋ 32	▲ 19	＋ 4	± 0	
稚内市中卒者数	（ 346 ）	（ 272 ）	（ 307 ）	（ 295 ）	（ 312 ）	（ 309 ）	（ 305 ）	（ 283 ）	▲ 63
対前年度増減		▲ 74	＋ 35	▲ 12	＋ 17	▲ 3	▲ 4	▲ 22	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
稚　内	4	看 1	5	17	普▲4 看▲1			○４年間で０～１学級相当の調整が必要	母体校 豊富の センター校
稚内商工		商・工 2	2	-1	商▲1 工▲1				
新　設　校					普＋4 商＋1 看＋1				
地　豊　富	1		1	10					
浜 頓 別	2→1		1	5	普＋1 （計画変更）				H22二次募集 後学級減
枝　幸	2		2	23					
利　尻	1	商 1	2	59					
礼　文	1		1	30					
7校	11→10	4	14	143	普▲4、看▲1 商▲1、工▲1 普＋5、商＋1 看＋1				

オホーツク中学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	1,566	1,544	1,512	1,513	1,436	1,420	1,374	1,350	▲ 216
対前年度増減		▲ 22	▲ 32	＋ 1	▲ 77	▲ 16	▲ 46	▲ 24	
北見市中卒者数	（ 1,197 ）	（ 1,163 ）	（ 1,192 ）	（ 1,116 ）	（ 1,087 ）	（ 1,078 ）	（ 1,009 ）	（ 1,040 ）	▲ 157
対前年度増減		▲ 34	＋ 29	▲ 76	▲ 29	▲ 9	▲ 69	＋ 31	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
北見北斗	6		6	0				○４年間で３～４学級相当の調整が必要	常呂のセンター校
単 北見柏陽	6		6	0				○北見市内の定員調整を含めた高校配置のあり方について検討が必要	
フ 北見緑陵	5		5	-2			普▲1		
北見工業		工 4	4	6					
北見商業		商 4	4	-1					
置　戸		福 1	1	1					
総 留辺蘂	3→2		2	4					H22二次募集後学級減
佐呂間	2→1		1	5	普＋１（計画変更）				H22二次募集後学級減
地 常　呂	1		1	11					
訓子府	1		1	3					
津　別	2		2	39					
美　幌	2		2	11	普▲2				
美幌農業		農 3	3	67	農▲3				母体校
新　設　校					普＋２ 農＋２ （学科転換）				
13校	28→26	12	38	144	普▲2、農▲3 普＋3、農＋2		普▲1		

オホーツク東学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	645	614	576	631	594	566	596	548	▲ 97
対前年度増減		▲ 31	▲ 38	＋ 55	▲ 37	▲ 28	＋ 30	▲ 48	
網走市中卒者数	（ 362 ）	（ 339 ）	（ 311 ）	（ 351 ）	（ 340 ）	（ 328 ）	（ 339 ）	（ 336 ）	▲ 26
対前年度増減		▲ 23	▲ 28	＋ 40	▲ 11	▲ 12	＋ 11	▲ 3	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
単　網走南ケ丘	5		5	14				○４年間で２～３学級相当の調整が必要 ○斜里郡３町による高校配置のあり方について検討が必要	清里のセンター校
網走桂陽	2	商 2	4	6					
女 満 別	2		2	31					
総　斜　里	3		3	39					
地　清　里	1		1	4					
小 清 水	1		1	8					
6校	14	2	16	102					

オホーツク西学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	620	603	603	637	593	529	568	528	▲ 92
対前年度増減		▲ 17	± 0	＋ 34	▲ 44	▲ 64	＋ 39	▲ 40	
紋別市中卒者数	(224)	(198)	(197)	(204)	(202)	(171)	(193)	(178)	▲ 46
対前年度増減		▲ 26	▲ 1	＋ 7	▲ 2	▲ 31	＋ 22	▲ 15	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
遠　軽	5		5	11	普通科単位制導入			○４年間で２～３学級相当の調整が必要	
紋　別	3	商・2工	5	6					興部のセンター校
地興部	1		1	10					
滝　上	1		1	3					
雄　武	2		2	35					
中高 湧別	2→1		1	0	普＋１（計画変更）				H22二次募集後学級減
6校	14→13	2	15	65	普＋１				

十勝学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	3,496	3,375	3,441	3,166	3,417	3,190	3,184	3,110	▲ 386
対前年度増減		▲ 121	＋ 66	▲ 275	＋ 251	▲ 227	▲ 6	▲ 74	
帯広市中卒者数	(1,602)	(1,618)	(1,619)	(1,498)	(1,576)	(1,477)	(1,430)	(1,390)	▲ 212
対前年度増減		＋ 16	＋ 1	▲ 121	＋ 78	▲ 99	▲ 47	▲ 40	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
帯広柏葉	7		7	-1				○４年間で１～２学級相当の調整が必要	
単　帯広三条	7		7	-1				○再編も含めた定員調整や新しいタイプの高校の設置の検討が必要	
帯広緑陽	5		5	1			普▲1		
帯広工業		工 4	4	0				○昼間定時制のあり方について検討が必要	
帯広農業		農 5	5	0					
＊帯広南商業		商 5	5	-1					
音　更	4		4	-2					
芽　室	4		4	0					
幕　別	2		2	5					
上士幌	2→1		1	8	普＋１（計画変更）				H22二次募集後学級減
＊士　幌		農 2	2	27					
総　清　水	4		4	8					
新　得	2		2	29			普▲1		
中高　鹿　追	2		2	16					
更別農業		農 2	2	16					
大　樹	2		2	33					
中高　広　尾	2		2	17					
総　池　田	3		3	19					
本　別	2		2	11					
足　寄	2		2	38					
20校	50→49	18	67	223	普＋１		普▲2		

釧路学区高校配置計画

区　分	H２２	H２３	H２４	H２５	H２６	H２７	H２８	H２９	H29-H22
学区内中卒者数	2,585	2,260	2,229	2,174	2,108	1,981	2,000	2,048	▲ 537
対前年度増減		▲ 325	▲ 31	▲ 55	▲ 66	▲ 127	＋ 19	＋ 48	
釧路市中卒者数	(1,856)	(1,610)	(1,583)	(1,563)	(1,509)	(1,440)	(1,427)	(1,522)	▲ 334
対前年度増減		▲ 246	▲ 27	▲ 20	▲ 54	▲ 69	▲ 13	＋ 95	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
釧路湖陵	7		7	-2	普▲1			○４年間で２～３学級相当の調整が必要	阿寒のセンター校
単　釧路江南	7		7	2	普▲1			○釧路市内及び周辺町村において再編の検討が必要	
釧路商業		商 6	6	-1	商▲1				
釧路工業		工 7	7	0	工▲1				
総　釧路明輝	5		5	0					
フ　＊釧路北陽	6		6	-1					
釧 路 東	5		5	-3	普▲1				
阿　寒	2		2	19		普▲1	地域キャンパス校化		
白　糠	3		3	-4					
総　標　茶	3		3	13					
弟 子 屈	2		2	16					
厚岸翔洋	1	水 1	2	9					
＊霧 多 布	2→1		1	12	普＋１ (計画変更)				H22二次募集後学級減
13校	43→42	14	56	60	普▲3、商▲1 工▲1、普＋1	普▲1			

根室学区高校配置計画

区　分	Ｈ２２	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	H29-H22
学区内中卒者数	876	808	814	786	763	710	742	800	▲ 76
対前年増減		▲ 68	＋ 6	▲ 28	▲ 23	▲ 53	＋ 32	＋ 58	
根室市中卒者数	（ 315 ）	（ 280 ）	（ 279 ）	（ 276 ）	（ 266 ）	（ 212 ）	（ 264 ）	（ 254 ）	▲ 61
対前年増減		▲ 35	▲ 1	▲ 3	▲ 10	▲ 54	＋ 52	▲ 10	

学校名	平成２２年度の状況 学科及び募集学級数 普通	職業	計	H22 欠員	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６～２９年度までの見通し	摘要
根　室	3	商 2	5	0				○４年間で０～１学級相当の調整が必要	
根室西	3		3	33	普▲1			○根室市内について新しいタイプの高校の設置も含めた再編の検討が必要	
別　海	3	農 1	4	40					
中標津	4	商 2	6	38					
標　津	2		2	24					
*中標津農業		農 2	2	42					
中高 羅臼	2		2	16					
7校	17	7	24	193	普▲1				

《全学区共通事項》
平成23年度以降の各通学区域における生徒の進路動向を見極めて、平成23年度以降毎年度再検討するとともに、新たに計画に反映させるものとする。